

◆ 準 備

チラシづくり



絵を描くプログラムがあるので、広報にイラストは使わない。手書きの文字を加えるなど工夫したよ！

楽しく学ぶことができるプログラムだということ、たくさんのイラストで表現したよ。



タイトルが授業目的をしっかり表現できている。お接待とお寺の文化を両方学ぶことをPR。



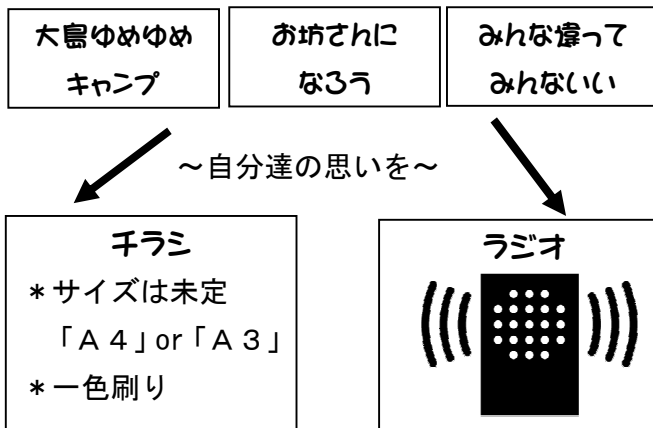
各授業の個性があらわてれおり、チラシの素材としての魅力を感じました。チラシ完成へ向け、スタッフの顔写真など、いくつかの素材を集めていきたいと思えます。

ラジオ番組づくり

放送日	内容	
8/26 (日)	3分間で授業紹介！ (タイムスケジュール案) 1分 オープニング 2分 インフォメーション 3分 「大島ゆめゆめキャンプ」紹介 3分 「お坊さんになろう」紹介 3分 「みんな違ってみんないい」紹介 2分 インフォメーション 1分 エンディング	
9/2 (日)		
9/9 (日)		15分間で授業紹介！ 先生のインタビューをしてみよう。 授業現場の雰囲気、音を拾ってみよう！ 適切なBGMを選んで流してOK！
9/16 (日)		
9/23 (日)		



広報物制作の基本を確認



対象：小学3年生～6年生の子ども達
目的：「参加したい」と思ってもらうこと

- ①情報を受け取る人を考える。 【子供、学生、女性、高齢者など】
- ②読み手の特徴を知る。 【漢字が読めない、字が読みにくいなど】
* フリガナをつけよう！
- ③掲載（発信）情報は取捨選択する。 【あれもこれもと欲張らない】
* 自分達がまとめたものを選んでのせよう！
- ④分りやすい言葉を使う。 【必要な情報を的確に伝える】
* 例えば「カタカナ」。正しく伝わらないことが多い。
- ⑤興味や関心をひく工夫を考える。 【色や形、大きさ、表現など】
* 例）子ども映画塾→イラストを工夫した！
- ⑥6W3Hを確認する。 【読み手になって考える】
* 抜けていると伝わらない。
- ⑦言葉や表現に不適切がないか確かめる。 【誤った意味を与えない】
- ⑧文字の種類、大きさ、飾りを考える。 【親しみやすい表現と雰囲気】
* ゴシック・明朝・丸ゴシック、書体で印象が変わる！
* 手書き？ワープロ？
- ⑨配置・配列（レイアウト）を考える。【見やすさ、見にくさの分かれ道】
- ⑩原稿に誤字・脱字がないか確かめる。 【情報が正しく伝わりません】

<絶対にしてはいけないこと>

- ①ウソ・偽りの内容を伝えること。 【犯罪です！】
- ②事実よりも大きさに表現すること。 【訴えられます！】
- ③誰かを傷つける内容を発信すること。 【自分がされたら嫌ですよ】



学びの主体者である子ども達を迎える準備の中で、学生スタッフと先生のコミュニケーションが深まった。学生スタッフの主体的な活動を全面的に応援くださる先生方の姿が印象的。2回の研修会を通して、地域の子どもの学びを支える支援者としての自覚が深まり、また、関係者の信頼関係が構築できたような気がしている。